

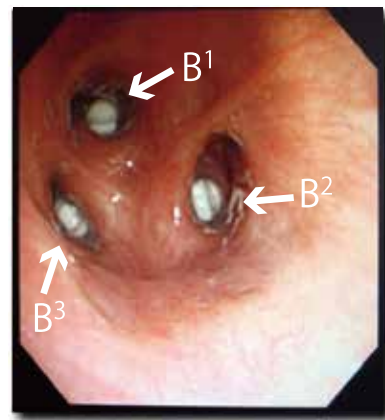
気管支充填材

EWS[®] Endobronchial
Watanabe
Spigot



内視鏡下に行う 気管支用充填材

外科手術が困難な
難治性気胸や気管支瘻等の
治療を目的とします。



例) B¹, B², B³ に充填

気管支充填術を行う際は、
手技ビデオやハンドブックをご覧になり、
学会主催の講習を受講するようお願いいたします。



手技ビデオ



手技ハンドブック



◆形状・構造



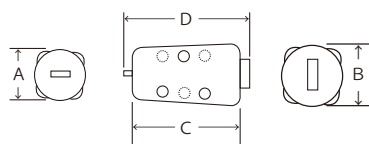
EWS® は、シリコン製の塞栓物です。一方が細い円柱状構造をしており、充填箇所固定するよう胴体部分に6か所の半円球状の突起が配置されています。

また、EWS® の上下には板状の突起があり、気管支充填術を行う際に把持鉗子で強固に把持することができます。

◆サイズ

充填箇所に合わせて適切なサイズをお選びください。

通常、亜区域気管支に M サイズを充填します。



| (単位: mm) | | | | |
|----------|---|---|------|----|
| サイズ | A | B | C | D |
| S | 4 | 5 | 8.5 | 12 |
| M | 5 | 6 | 10.5 | 14 |
| L | 6 | 7 | 12.5 | 16 |

◆効能又は効果

EWS® は外科手術による治療が困難で、かつ次の瘻孔を有する患者様の気管支に充填するために用います。

- 続発性難治性気胸
- 肺切除後に遷延するエアリーク
- 有癭性膿胸
- その他の瘻孔

◆使用方法

バルーンカテーテルなどを用いて同定した責任気管支に合うサイズの EWS® を選択してください。

軟性気管支鏡の作業チャンネルに軟性把持鉗子を通し、EWS® の太い方の板状突起（近位部）を強く把持してください。気管内チューブを通して責任気管支に EWS® を運び、近位端の肩が隠れるくらいまで押し込んでください。留置後、X線撮影を行い充填箇所の位置を確認してください。

【警告】

- レーザー処置を行う場合は、発火の危険性がありますので、必ず本品を抜去してから行ってください。
- 留置後喀痰等により本品が移動した場合は、本品を抜去し、必要に応じ適切なサイズの本品を再挿入してください。
- 本品を用いた充填術により低換気となるおそれがあるため、術前に無気肺となる領域の大きさを考慮し、リスク/ベネフィットを慎重に考慮の上、使用してください。術前の綿密な治療設計が重要であります。
- 本品留置後に留置した末梢部で肺炎や無気肺を起こすことがあります。その場合は本品を抜去するか、抗生剤投与などの適切な治療を施してください。
- 有癭性膿胸の患者に使用する場合は、開窓術又はドレナージが有効であることを確認してください。[感染が遷延化するおそれがあるため。]

【製品情報】

| 商品コード | セット名 | 梱包内容 | JAN CODE |
|-----------|-----------------------|----------------------------|---------------|
| 03058-800 | 気管支充填材EWS® 標準セット | Sサイズ3個 Mサイズ6個 Lサイズ3個 | 4931839803660 |
| 03058-804 | 気管支充填材EWS® Sサイズセット | Sサイズ 6個 | 4931839804735 |
| 03058-805 | 気管支充填材EWS® Mサイズセット | Mサイズ 6個 | 4931839804742 |
| 03058-806 | 気管支充填材EWS® Lサイズセット | Lサイズ 6個 | 4931839804759 |

高度管理医療機器 承認番号：22500BZX00015000

Reference

- 1) Rafinski RA, Über die Behandlungsmöglichkeit, des Spontanpneumothorax von Kindern mit einer zeitweiligen Plobiereng des sogenannten Drainagebronchus. Prax pneumol. 1965; 19:736-746
- 2) 渡辺ら、カンジダ菌血症に合併した腎盂気管支瘻に対し歯科用印象材による気管支充填術が有用であった1例. 気管支学 1991; 13:607-610
- 3) 渡辺ら、難治性気胸、気管支瘻に対する EWS®(Endobronchial Watanabe Spigot) を用いた気管支充填術の有用性. 気管支学 2001; 23(6):510-515
- 4) Watanabe et al. Bronchial Occlusion with Endobronchial Watanabe Spigot, J Bronchol 2003; 10(4): 264-267.
- 5) 渡辺ら、気管支充填術. 気管支学 2005; 27(6): 475-478
- 6) 宮澤ら、難治性気胸に対する EWS® を用いた気管支充填術の検討, —新しいEWS®の充填法(Push & slide 法)—
- 7) Ueyama et al., Three cases of intractable pneumothorax treated successfully with bronchial occlusion using Endobronchial Watanabe Spigots and coagulation factor XIII.JJSR 2010; 32(3):224-28
- 8) 吉田ら、当院における EWS® の治療経験長期留置は可能か. 気管支学. 2009; 31(1): 5-9.
- 9) 森山ら、原発性自然気胸における再発危険因子の検討. 日本気胸・嚢胞性肺疾患学雑誌. 2010; 10(2): 96-100

本カタログに記載されている内容の無断転載、転用を禁止します。 また、本カタログに含まれる情報は、予告なく変更する事がありますのでご了承下さい。

海外製造販売業者：フランス ノバテック社 (NOVATECH S.A)
製造販売業者



原田産業株式会社 メディカルチーム
〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目10番2号
Tel:(06)6244-0978 Fax:(06)6244-0977

<http://medical.haradacorp.co.jp/>